新EasyISTRの紹介 (EasyISTR ver 3.25.210218)

梁の構造解析を改善

- 1. beam要素の方向の取得、断面2次モーメントの取得を追加 多数の梁を組み合わせた梁構造(ラーメン構造)の解析が可能。
- 指定した節点をピン接続への変更を追加
 トラス構造の解析が可能
- 梁のNQM(軸力、せん断、モーメント)の出力を追加
 梁の応力算出が可能



1. beam要素の方向の取得、断面2次モーメントの取得を追加

EasyISTR上での、梁の構造解析は、可能だが、 多くの梁で構成された本格的な梁構造解析は、不可能に近い。

そのネックになっている項目が

・多くの梁に対して材料設定が必要

·梁の参考z軸の取得(梁のlocal座標を取得)

・梁の断面積、断面2次モーメントの算出が煩雑になる。

この為、

・同じ材料、同じ断面で同じ平面上に配置される梁をグループ化する。
 → 材料設定する個数が減らせる。
 ・参考z軸方向と断面2次モーメントの取得用ボタンを設置。
 → ボタンをクリックするだけで、取得できる。

1-1. beam要素の参考z軸方向の取得

複雑な梁構造でも、梁のグループ化をうまく行うと、材料設定の手間を大幅に省く事ができる。 以下の例では、21本の梁が2種類のグループ化で済む。

同一平面上の梁の参考z軸方向は、その平面の垂直方向とする事ができる。 group化は、面上に配置される梁毎にgroup化している(leftRightStruct、topBar) (leftRightStructは、2面あるが、これらは平行な面の為、同一面とみなせる)



最終的に、2ヶのgroup化で済む。(材料設定は、2種類の設定で済む。)

1-1. beam要素の参考z軸方向の取得

要素group単独で面が取得できる為、ボタンのクリックのみで取得できる。



1-2. 断面2次モーメントの取得方法

断面形状と寸法を入力する事で、値が取得できる。



1-2. 断面2次モーメントの取得方法 計算できる断面形状は、以下を準備している。







2. 指定した節点をピン接続への変更が可能

指定した節点groupの節点を剛接続からピン接続に変更できる。(トラス構造の解析が可能)

<ピン接続への変更方法>

新しい節点 3'を追加して接続を断つ。 3-3'の変位が同一となる様にEQUATIONを追加し、回転を拘束する為弱いバネを追加。



2. 指定した節点をピン接続への変更が可能

ピン接続としたい節点group「allJoints」をピン接続とする場合



beam要素の編集

×

2. 計算結果

初期形状



剛接続モデル



ピン接続モデル



3. 梁のNQM(軸力、せん断力、ねじり・曲げモーメント)の取得方法

beam要素「641」の場合は、出力項目「BEAM_NQM」を「ON」にする事で、これらの値を 出力させる事ができるので、これらをparaViewで確認する事ができる。 (通常のunv2fistr変換では、beam要素「611」で変換されるが、この要素を「641」に変換できる。)

梁のY軸方向曲げモーメントの例



4. まとめ

- 梁の要素group化は、同一面上で定義できる梁をまとめて定義する。
 (この面に平行な面も含めて、まとめて定義する。)
 これにより、材料設定数が減るので、設定が容易に行える。
- 2. 梁要素の方向、断面2次モーメントが容易に取得できるので、材料設定が容易になり、 大規模な梁構造(ラーメン構造、トラス構造とも)の解析が可能になった。
- 3. 梁のNQM(軸力、せん断力、モーメント)を出力させる事ができるので、 これらの値と断面形状から、応力が計算できる